

門 八
 2785
 81

ゆきり
 又座の早
 一編とせよ

万の著
 玉貞
 乙未春
 後重
 為梓

(一) (八)

釋迦八相倭文庫四拾一編序
 夫賢と賢ととて色小易の妻を雉子の春情色と色と
 色と色ととてあるける難陀太子も三冥土の戒肝と冷と賢を
 守中の方家の位の上る嘉あれ又善星童子の悪念ある大欲却て無
 欲の亡八刀尋段々壞の經文と舍利弗の危難不露一花子が久水の怨
 灵の彼累女が絹川堤のその容体不彷彿する何國も今下煩惱する
 迷ひも菩提の種竟ある仏果を得るなり

安政六巳未年孟陽吉旦
 万亭應賀誌



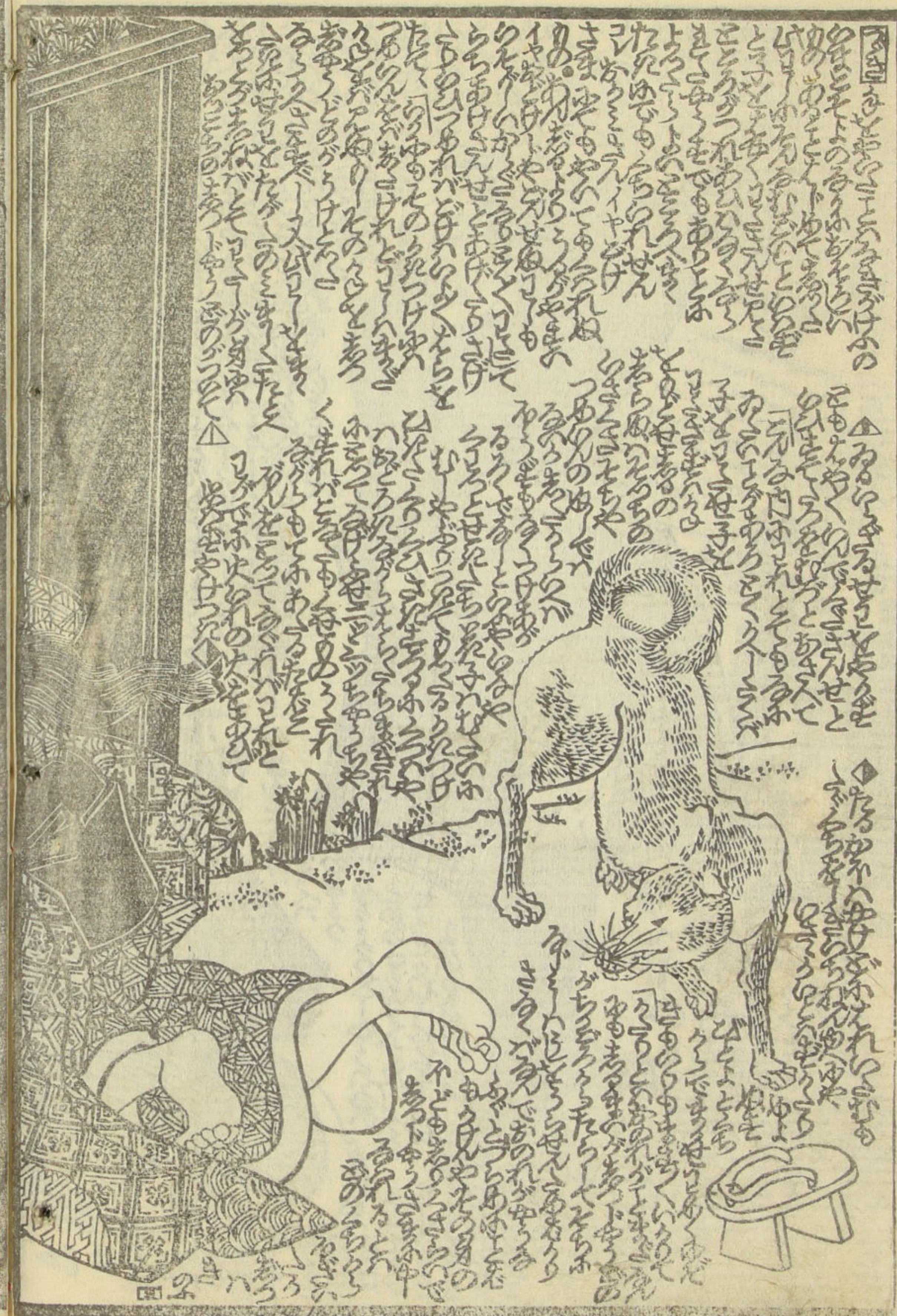


徳川御前



11 12

花の 甘の かねの けの けの けの



徳川御前

五





